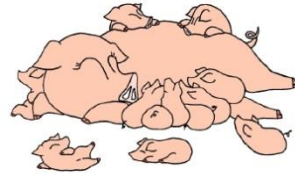


PED防疫対策の再徹底をお願いします

今シーズンに入ってから、茨城、千葉、栃木、宮崎など関東地方や九州地方で、新たな豚流行性下痢（PED）の発生が見られています。

県内での発生はありませんが、引き続き飼養衛生管理基準の遵守と、ウイルスの侵入防止に努めてください。



豚流行性下痢(PED)の発生状況 平成29年シーズン(H29.9.1-H30.8.31)

平成30年3月9日現在

発生都道府県	初発事例確認日	累計発生農場数	発生農場数		非発生農場割合	累計発症頭数	累計死亡頭数	頭数の最終確認日
			発生農場数	非発生農場数				
茨城県	平成29年11月13日	11	10	1	9%	3,742	68	平成30年03月06日
栃木県	平成30年01月30日	2	2	0	0%	1,969	143	平成30年02月28日
群馬県	平成29年12月13日	1	1	0	0%	360	287	平成29年12月31日
千葉県	平成29年11月17日	6	6	0	0%	429	34	平成30年02月26日
愛知県	平成29年09月27日	1	1	0	0%	2	0	平成29年09月27日
熊本県	平成29年12月30日	1	1	0	0%	619	5	平成30年01月15日
宮崎県	平成29年12月30日	3	3	0	0%	124	0	平成30年02月07日
7 県		25	24	1	4%	7,245	537	

都道府県の取りまとめによる累計数。

・「非発生農場」とは、原則としてPED防疫マニュアル(平成26年10月24日付け26消安第3377号消費・安全局長通知)の4(5)の規定に基づき、農場内全体で症状がみられなくなったことを家畜防疫員が臨床検査により判断した時点から、

①症状が新たに確認されないまま8週間が経過した農場

②症状が新たに確認されないまま4週間が経過し、かつ、PCR検査で陰性を確認した農場

をいう。

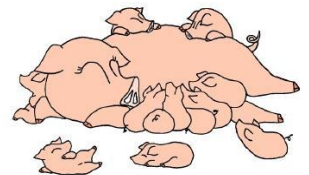
早期通報のお願い

次に示すような症状が出た場合、すぐに家畜保健衛生所へ連絡してください。

◆複数の繁殖豚が分娩した哺乳豚のうち、
半数以上が水様性下痢・嘔吐・死亡した場合

◆哺乳豚1頭以上が水様性下痢・嘔吐・死亡し、
半日以内に他の哺乳豚に同症状が拡大した場合

◆複数の繁殖豚・肥育豚が
食欲不振・下痢（軟便から水様性）・嘔吐を呈した場合



※平日時間外(午前8時30分～午後5時15分以外)や休日の電話に対しては、「電話交換業務が終了しています。」に続く、「お急ぎの場合は、そのまま「1番」をダイヤル願います。」の案内メッセージに従って対応をお願いします。

飛騨家畜保健衛生所 (飛騨総合庁舎内)

〒506-8688 高山市上岡本町7-468

E-mail : c24508@pref.gifu.lg.jp

TEL : 0577-33-1111 (内線402)

FAX : 0577-32-9019

農場へのウイルス侵入を防ぐために



飼養衛生管理の徹底

PEDの発生予防、伝播防止のためには、各農家における対策が極めて重要です。

消毒の徹底

- 車両、畜舎の消毒を徹底する。
- ※下に消毒方法例示有り

ワクチンの活用

- ワクチンの適切な使用によって、ウイルスが侵入した場合における被害を低減させる。

野生動物対策

- 農場柵の設置、豚舎の修繕等を行う。
- ねずみ、害虫等の駆除を実施する。

人、車両の出入り

- 人、車両の出入りを記録し、1年以上保存する。
- 関係者以外を畜舎にみだりに立ち入らせない。

を重点的にチェックしましょう。

★消毒のポイント★

車両

- 運転席のマット消毒
- ハンドル、ペダルの消毒
- 荷台の消毒も忘れずに

踏込消毒槽

- 汚れを落としてから入る
- 消毒薬は定期的に交換する
- ブーツカバーの使用も可
- 農場入口に消石灰帯を設ける

手指の消毒

- 石鹼、アルコールスプレーなどを用い、手指の洗浄、消毒を行う
- 使い捨て手袋の使用も可



消毒用噴霧器



踏み込み消毒槽



ブーツカバー

消毒薬 *土や糞などの付着混入、低温により効果が低下します。

- 車両には逆性石鹼、アルデヒドを高濃度で使用
- 踏込消毒槽はオルソ剤や「1%消石灰+逆性石鹼500倍」が即効性と効果持続が良い